

【がん種】 [アミロイドーシス](#)
【レジメン名】 DCyBorD③7コース目～
【登録番号】 800003
【1コースの期間】 4週間
【投与間隔調整規定】 -2日
【総コース数】 PDまで(DCyBorD②3～6コース目 終了後から)
【催吐性リスク】 最小度:ダラキューロ
【抗がん剤の組織障害性】 ノンビシカント(非壊死性):ダラキューロ
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、注入に伴う反応、疲労、傾眠、間質性肺炎、悪心、嘔吐、食欲不振、下痢、便秘、注射部位反応

【必要な検査】 一般採血、間質性肺炎の確認、治療開始前に間接クームス試験を実施する(最終投与から6か月後までは、検査結果が偽陽性になるおそれがあるため)。
【根拠論文】 N Engl J Med 385:46-58, 2021.
【点滴の時間】 -
【その他】 ダラキューロ:治療開始前に間接クームス試験を実施する(最終投与から6か月後までは、検査結果が偽陽性になるおそれがあるため)。

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日		
					1	...	28
1	レスタミン錠 10mg	5 錠/回	内服	1日1回 ダラキューロ投与1時間前	○		
	アセトアミノフェン錠 200mg	4 錠/回					
	デカドロン錠 4mg	5 錠/回					
2	ダラキューロ配合皮下注 臍から左 or 右に約7.5cmの腹部	1 本	皮下注	23～25Gの針 3～5分	○		

調製開始から4時間以内に投与終了